

邑南町がん対策推進計画

平成21年3月
邑 南 町

邑南町がん対策推進計画

1. 計画策定の目的と、計画策定の期間は次のとおりです。

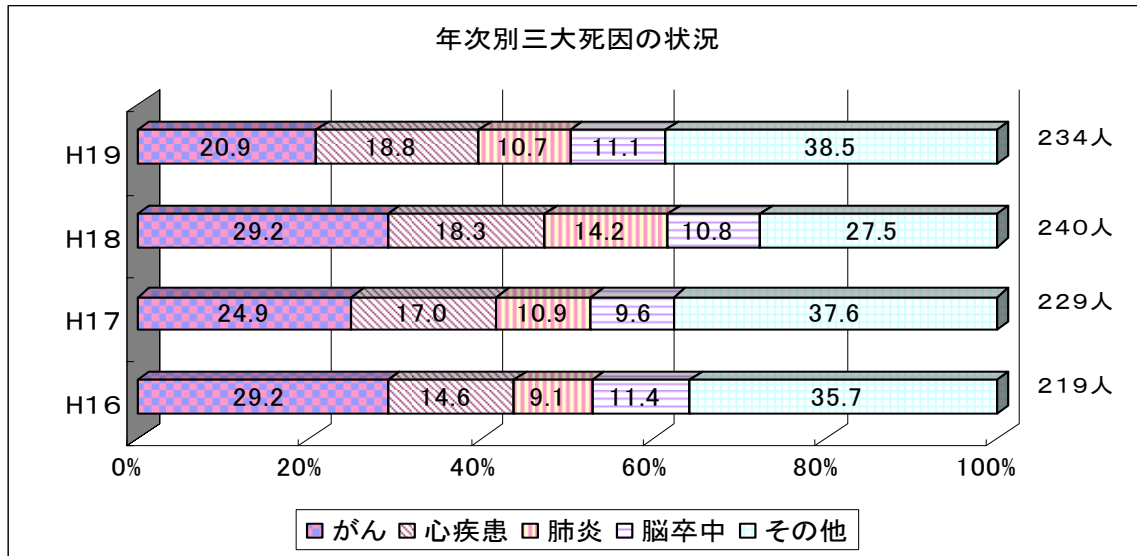
- 本計画は、すべての町民及びがん患者や家族の立場に立って、がん対策の総合的な推進を図るための計画です。
- 本計画は国の「がん対策基本法」及び「がん対策推進計画」、県の「島根県がん対策推進条例」を基本とするとともに、邑南町の健康課題に沿って「邑南町がん対策推進計画」を策定します。
- 特に邑南町は、「壮年期（働き盛り）のがん死亡ゼロのまち」を目指して、計画を推進していきます。
- 本計画の計画期間は、平成20年度（2008年度）から平成24年度（2012年度）までの5年間とし、毎年評価し計画の見直しを行います。

2. 邑南町の重点課題は・・・

- ①死亡原因の第1位はがんです。
- ②壮年期（40～64才）の働き盛りの年代にがん死亡が毎年あります。男性の死亡率が女性に比較して高い傾向にあります。
- ③壮年期死亡率は男性では胃がん・肝臓がん、女性では大腸がんによる死亡が県平均と比較して高い傾向にあります。また経年的には男女とも肺がん、女性の子宮がんが増加傾向にあります。
- ④がん検診の受診率は、胃がん・子宮がん検診が全国・島根県と比較して低い受診率になっています。
- ⑤近隣にがん拠点病院がないので、がん患者さんにとって通院が大きな負担になっています。
- ⑥緩和ケア、終末期医療を行える医療機関が不十分であるため、在宅での療養が難しい現状があります。

(1) がん死亡の状況

①死亡原因の第1位は過去4年間がんです。

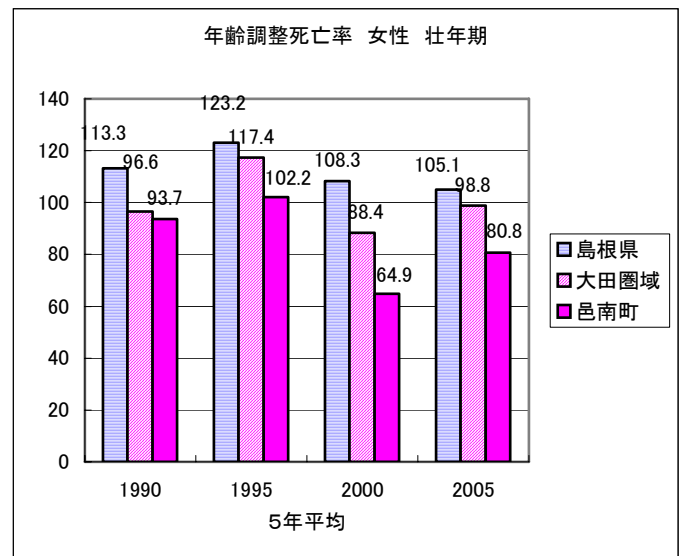
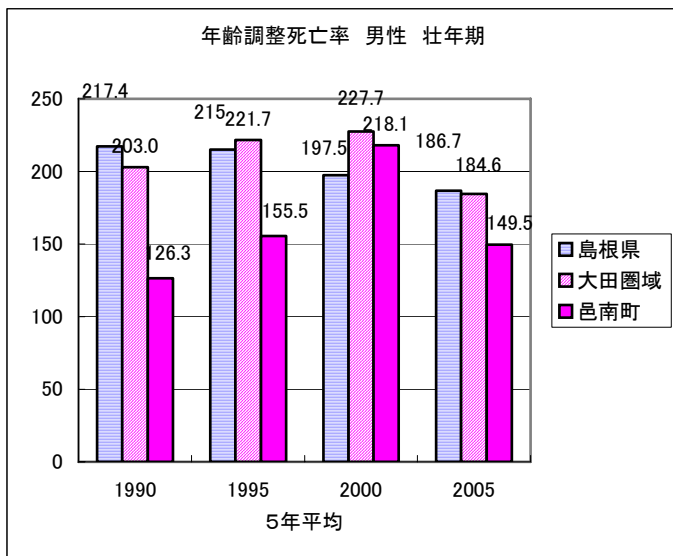


出典：島根県保健衛生統計書（H19年は町実績書）

H16～H19年の死亡原因をみると、死亡の第1位はがんです。割合では、全死亡の25%前後（4人に1人）を占めています。

②壮年期（40～64才）の働き盛りの年代のがん死亡～

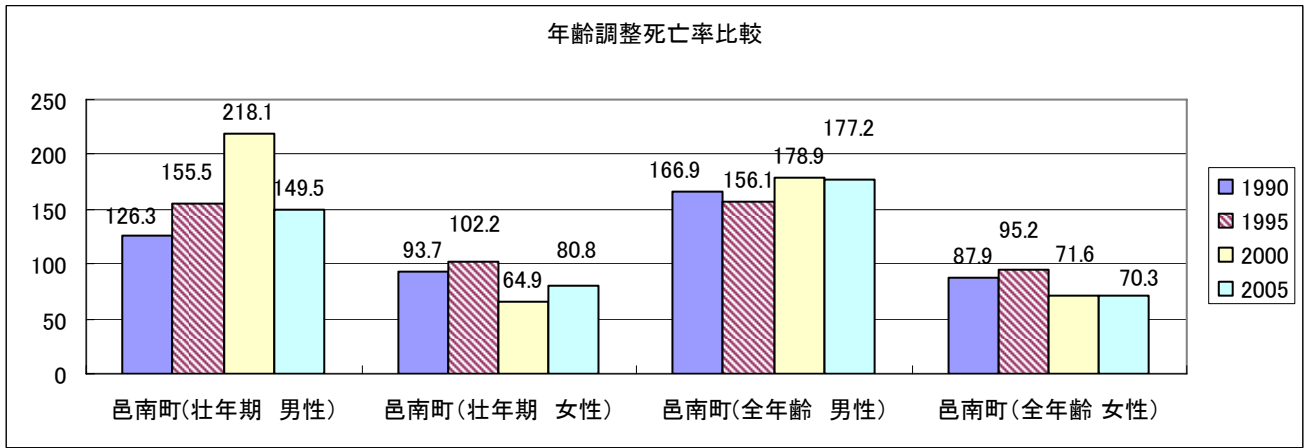
〈がん死亡年齢調整死亡率の経年的比較〉



出典：島根県健康指標マクロ（県保健環境科学研究所）

邑南町を県や大田圏域の死亡率と比較すると、男性・女性とも低い状況です。

〈邑南町がん死亡年齢調整死亡率の男女比較〉



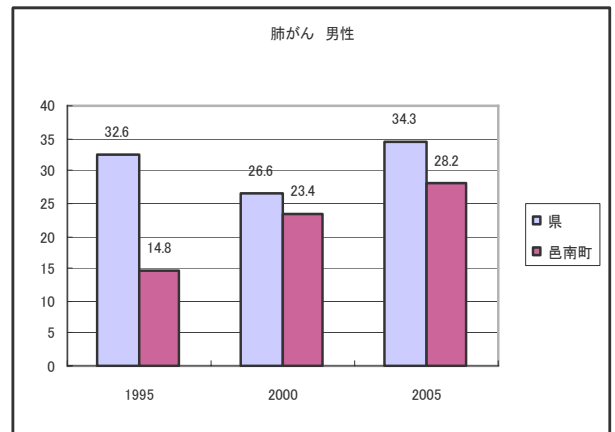
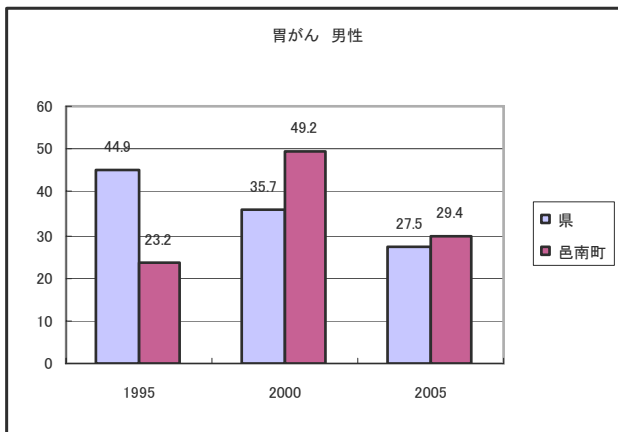
出典：島根県健康指標マクロ（県保健環境科学研究所）

がんによる壮年期（40～64才）の死亡率について男女を比較すると男性のほうが高い状況です。

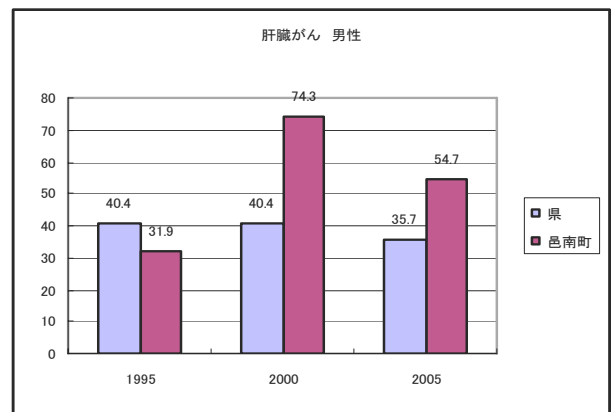
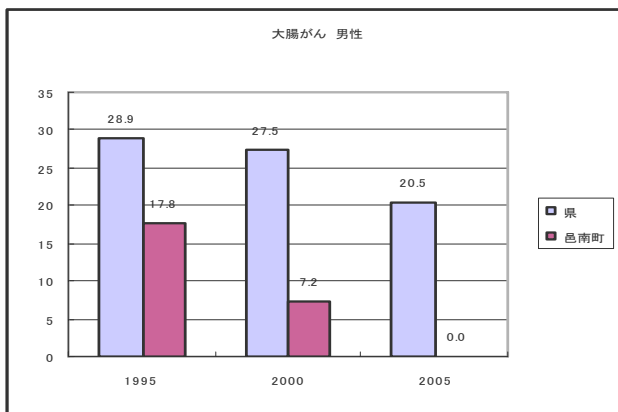
全年齢と壮年期の年齢調整死亡率を比較すると、女性においては壮年期の死亡率が若干高い状況にあります。

③**壮年期のがん年齢調整死亡率～県平均を上回っているがんがあります。**

〈がん別年齢調整死亡率（壮年期40～64才）〉 男性

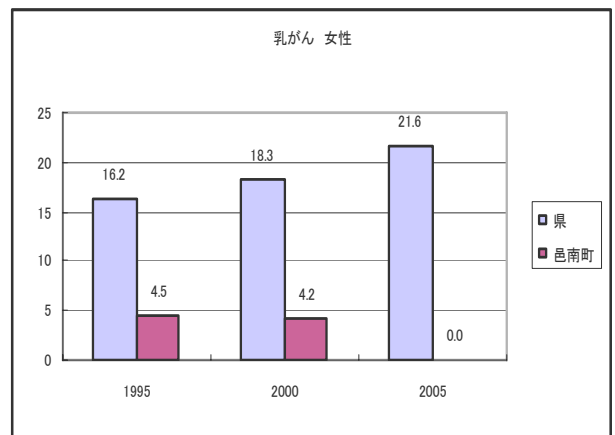
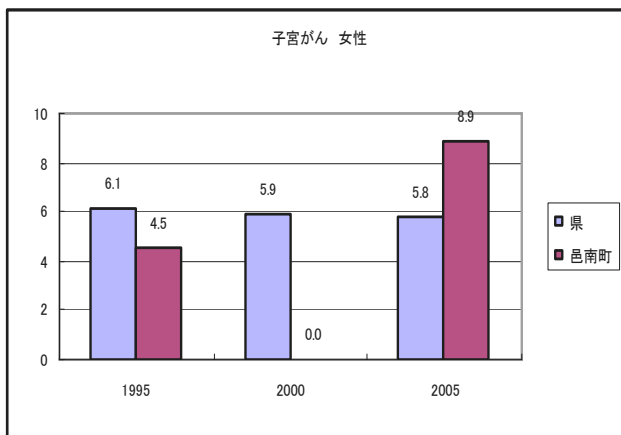
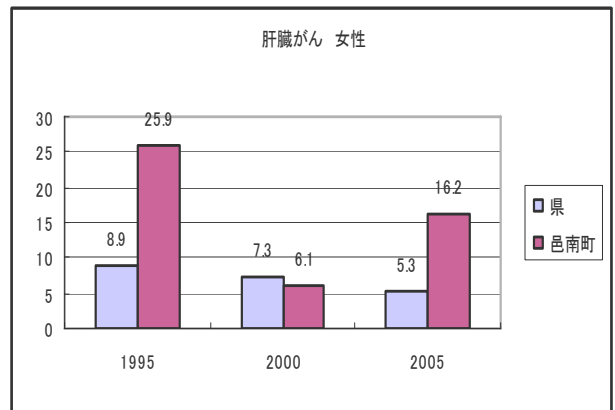
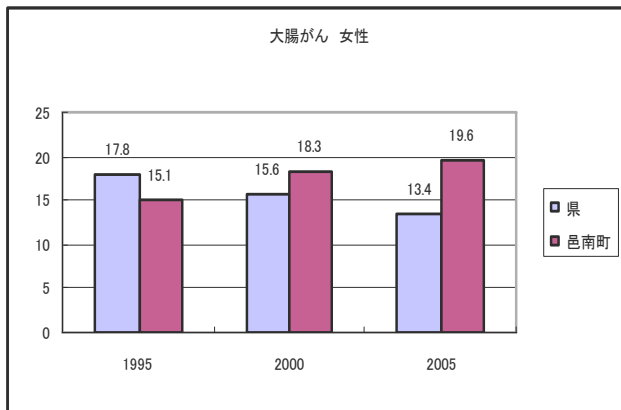
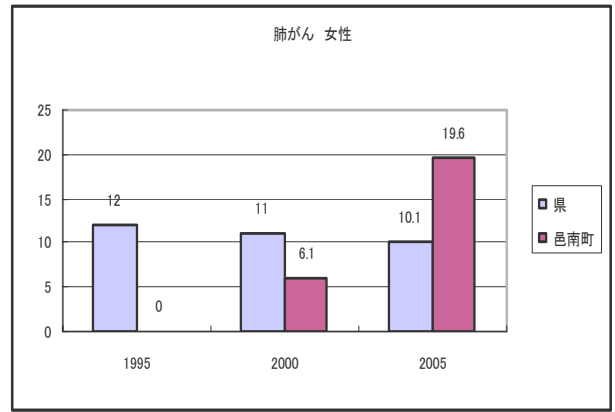
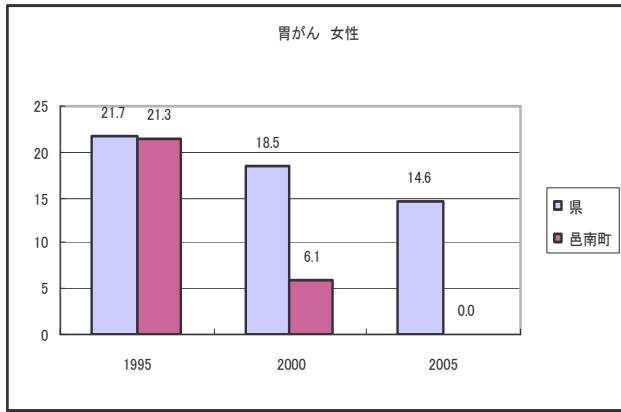


出典：島根県健康指標マクロ（県保健環境科学研究所）



男性の壮年期のがん年齢調整死亡率は、胃がん・肝臓がんが県平均を上回っており、町で経年的にみると肺がんが増加傾向にあります。

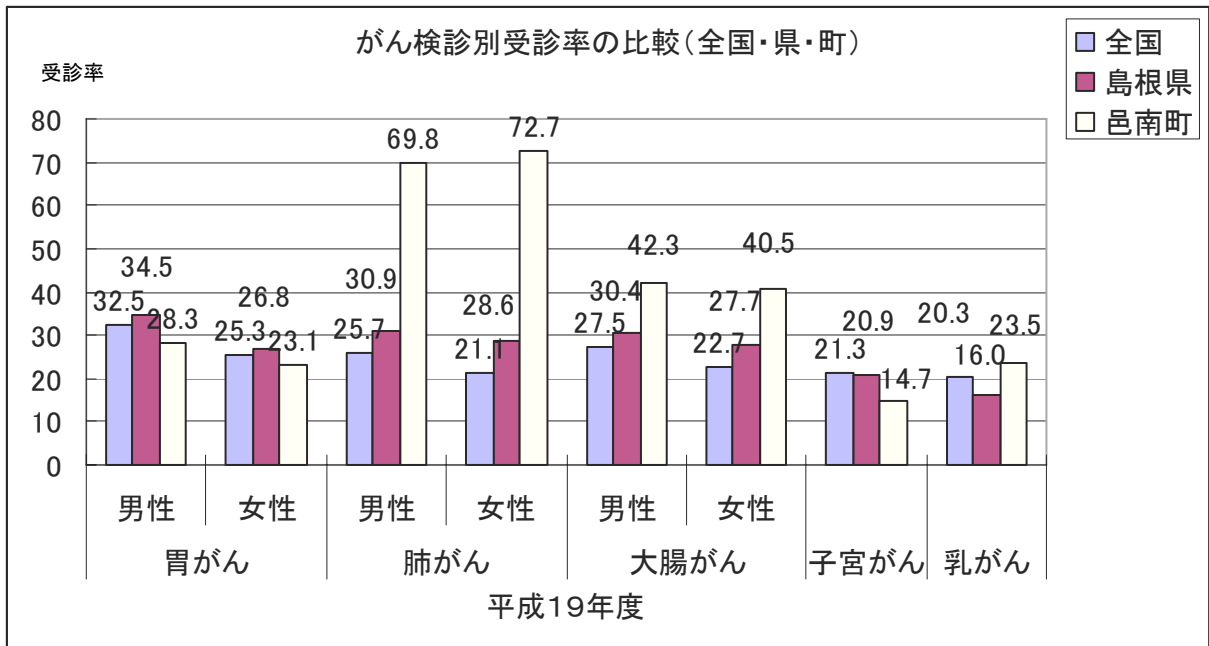
<がん別年齢調整死亡率（壮年期40～64才）> 女性



出典：島根県健康指標マクロ（県保健環境科学研究所）

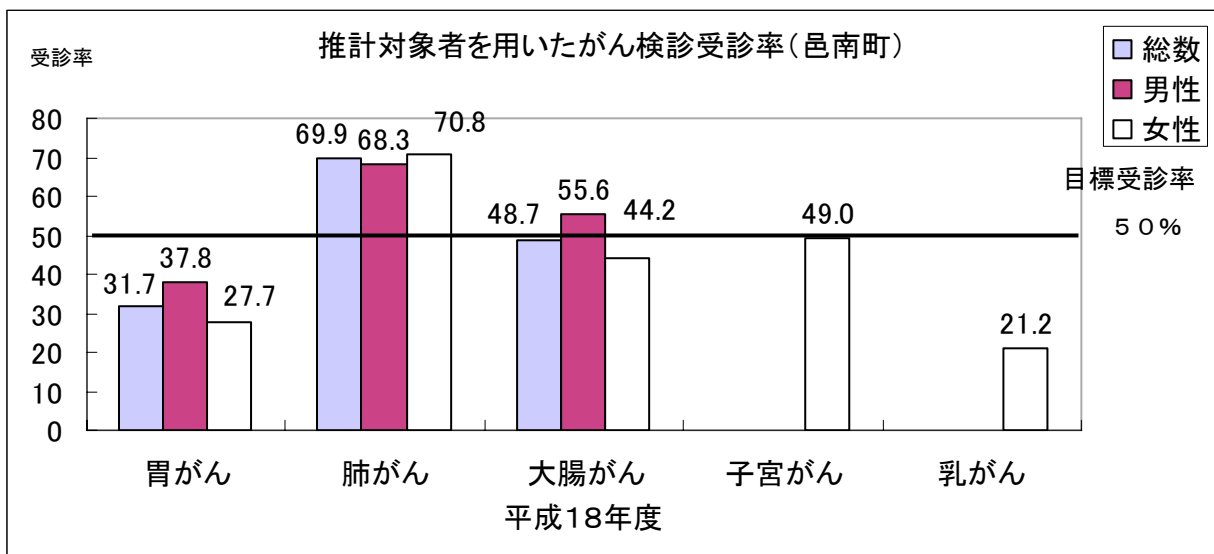
女性のがん年齢死亡率では、大腸がんが県平均を上回っており、町で経年的にみると肺がん・子宮がんが増加傾向にあります。

(2) がん検診受診率の状況



出典：地域保健・老人保健事業報告

各種がん検診の受診率を全国・島根県・町とで比較すると、胃がん検診・子宮がん検診の受診率が全国・県より低い受診率となっています。



出典：厚生労働省調べ

一方国では、2011年度を目途に5種類(胃・大腸・肺・子宮・乳)の各種がん検診受診率を50%以上に引き上げるよう、がん対策推進基本計画の目標値が設定されました。そこで複数の市町村のがん検診受診率を同一基準で比較評価するために、厚生労働省で「推計対象者」を用いたがん検診受診率が算出されましたが、胃がん検診・乳がん検診が目標受診率を達成しておらず、今後の対策が必要と思われます。

3. 重点目標は次のとおりです。

【重点目標】

① がん死亡率（壮年期年齢調整死亡率人口10万対）を減少させます。

人口10万対がん死亡率（壮年期年齢調整死亡率）の目標値については、平成22年度を目標に策定した健康増進計画の目標値を平成24年度まで延長し設定し、低減を目指します。

（ただし目標に到達しているがんについては「減らす」、ゼロについてはゼロとした。）

	男		女	
	2003～2006年度 (5年平均)	平成24年度	2003～2006年度 (5年平均)	平成24年度
胃がん	29.4	→ 減らす	0	→ 0
肺がん	28.2	→ 14.8	19.6	→ 0
大腸がん	0	→ 0	19.6	→ 15.1
子宮がん			8.9	→ 0
乳がん			0	→ 0

② がん検診受診者数を増加させます。

がん検診受診者数の目標値については、受診率を健康増進計画で設定した受診率を平成24年度まで延長して設定し、平成21年度の各検診の対象者をもとに受診者数の目標値を設定します。

	平成19年度		平成24年度	
	受診者数(人)	受診率(%)	受診者数(人)	受診率(%)
胃がん検診	1,377	25.7	1,779	32.5
肺がん検診	3,767	71.5	3,757	65.0
大腸がん検診	2,486	41.4	2,796	46.0
子宮がん検診	476	14.7	997	30.0
乳がん検診	449	23.5	832	32.0

*受診率は地域保健・老人保健事業報告分で算出

③ 患者・家族等への支援に力を入れます。

県と連携し、県が主催するがん診療連携拠点病院との意見交換会への参加を増やします。（県目標）

・ H20年度 年1回 → H24年度 年4回

拠点病院に設置されている「がん相談支援センター」の認知度をあげ、県が目標としている目標値と同様に平成24年度 60%（町民を対象としたアンケート調査で把握）を目指します。

4. 数値目標を達成するための施策は次のとおりです。

1. 一次予防

- がん対策推進計画の周知と、がん予防のための知識の普及を行います。
 - ・ 食生活改善・たばこ対策等のがん予防のための知識の普及啓発や、がん対策推進計画の周知（ダイジェスト版配布、出前講座の実施など）
 - ・ 健康長寿おおなん推進会議により、各部署で活動をすすめます。
- がん予防フォーラムを開催します。
 - ・ がん予防に関する講演会やシンポジウムを行い、町をあげてがん予防に取り組みます。
- 「島根たばこ対策指針」に基づいて、たばこ対策を推進します。
 - ・ 喫煙率の実態調査や、各組織等（学校・職場・地域）で、禁煙啓発の健康教室を開催します。
- がん募金の実施に向け、協力機関のリストアップ・調整をしていきます。

2. 二次予防

- 受診しやすい体制をつくり、がん検診受診者の増加をめざします。
- 乳がんの自己検診法の普及に努めます。
 - ・ 出前講座や、乳幼児関係の事業の場などを通じて、乳がんの自己検診法の普及に努めます。
- 商工会と連携して、職場検診の実態調査と、充実した検診体制を確立します。
- 未受診者対策をすすめます。
 - ・ 3年連続未受診者に個別通知をし、受診勧奨していきます。
- 精密検査対象者の受診率100%をめざします。
 - ・ 結果通知の3ヶ月毎に未受診者への受診の確認と受診勧奨を行います。

3. 三次予防

- おおなん元気サロンへの支援
 - ・ 県・邑智病院・他のサロンなどの協力を得て、がんに関する情報を提供し、魅力あるサロンにしていきます。
 - ・ サロンの様子を、町のホームページやFTTH等を活用し、情報発信していきます。
- 相談窓口、専門医療機関、セカンドオピニオン、緩和ケアなど紹介したマップを作成します。
- 在宅療養を支えるための体制整備
 - ・ 県の「緩和ケア総合推進委員会」「大田圏域緩和ケアネットワーク」における今後の方向性を受け、本町として在宅療養を支えるための連携体制整備について協議していきます。

5. 計画の推進のために・・・

○計画の推進にあたっては健康長寿おおなん推進会議の中で進行管理を行い、協議・検討を踏まえ取り組んでいきます。

6. 計画の評価を行っていきます。

○本計画においては、具体的数値目標を定めていることから、定めた数値目標及びその他のがんに関する指標について、毎年評価を行い、その結果を健康長寿おおなん推進会議に提示し、検討するとともに、評価の結果を住民に公表していきます。